

⑨ 内部障がい者

自分の備え

日ごろの備え

- 服用している薬の処方箋やお薬手帳、薬局からの投薬説明文をコピーして、非常持出袋に入れておきましょう。
- 緊急連絡用カード^(※)には、病名、主治医、服用している薬、使用している医療機器、医療機器の設定に関する情報等できるだけ、詳しく分かりやすく記入しておきましょう。

※この本にはさみこまれています。

安全な避難

- 避難情報が出された場合は、できるだけ早く医療機関に連絡し、対処方法の指示を受けるようにしましょう。
- 障がいによっては、心肺への負担が大きく、病状の急変を引き起こす恐れがあります。周囲の状況を確認、安全な場所に移動し援助を依頼しましょう。
- 在宅酸素療法をしている人は、酸素吸入をいったん止めて、火災の危険性がないことを確認しましょう。火災が発生している場合は、酸素吸入を止めて安全な場所へ移動し、援助を依頼しましょう。

心臓機能障がい

◎ペースメーカー、ICD(植え込み型除細動器)、CRT(心臓再同期療法)ペースメーカーを装着している方

- 機器が故障したときの対応、緊急時の連絡方法等を、かかりつけの医療機関や機器メーカーに相談しておきましょう。
- ペースメーカー手帳(医療機関名、担当医、機器メーカー名、設定記録が記入されている)を常時携帯しましょう。
- 服用している薬もお薬手帳に記入しておきましょう。

じん臓機能障がい

- 透析が受けられなくなった場合に備え、食事の摂取方法や県外の医療機関での透析等、日ごろからかかりつけの医療機関とよく話し合っておきましょう。

呼吸器機能障がい

◎在宅酸素療法を受けている方

- 予備の酸素ボンベ、酸素キャリアを準備し、切り替え方法を確認しておきましょう。
- かかりつけの医療機関に酸素の必要度(酸素を使用しなくても大丈夫な日数)等を確認しておきましょう。
- 酸素チューブ等の医療材料は、数日分の予備を用意しておきましょう。

◎人工呼吸器を使用している方

- 外部バッテリーを準備し、バッテリーの持続時間を確認しておきましょう。
- ライフラインが寸断された場合に備え、アンビューバッグ(できれば自家発電機も)を用意しておきましょう。

◎ネブライザー^(※4)を使用している方

- バッテリーの予備を用意しておきましょう。

ぼうこうまたは直腸機能障がい

- ストーマ用装具の予備(最低 10 日分)を用意し、携帯する習慣を持ちましょう。
- ストーマ用装具のメーカーや販売店の連絡先を確認しておきましょう。
- ストーマ用装具やストーマケアに必要な備品等の保管は、持ち出しやすいところに分散しておきましょう。
- 非常用カード(オストミーカード)に必要な事項を書き、障がい者手帳・健康保険証と共に常時携帯しましょう。
- 緊急時に使用中の装具が入手できるとは限りません。違う装具も使えるようにしておきましょう。
- オストメイト対応トイレのある指定避難所を確認しておきましょう。

避難を支援する人

避難行動

- 身近にいる家族は、日ごろから避難場所、避難手段について、地域の関係機関と連携し確認しておきましょう。
- 在宅で使用するアンビューバッグや酸素ボンベなどの医療機器の取り扱いには、特定の人だけでなく、家族、介助者など複数が習得し使用できるようにしておきましょう。
- 障がいのある人から依頼があれば、医療機関に連絡したり、以後の対処について指示を受けたりするなどの支援をしましょう。

避難所での対応

- 医療行為が受けられなくなると生命に関わる人がいるため、医療行為の必要な場合には、早急に受け入れ病院の確認や移送手段の確保に協力しましょう。
- 器具の消毒や交換に必要な、清潔なスペースの確保に配慮しましょう。
- 食事についての配慮が必要か本人に確認しましょう。
- オストメイトの人には、トイレの使用に配慮しましょう。
- 内部障がいのある人は、外見からは分かりにくいいため、本人から身体の状況や生活上の注意事項の申し出があった場合は、避難所での対応に配慮しましょう。

※4 【ネブライザー】 薬剤を経口吸入するために液体の薬剤を噴射する装置です。